



緊急回覧

中央消防署からのお知らせ



火災による死者が連続発生

今月に入り、2月15日（木）に中央区南4条西14丁目の住宅、2月21日（水）に中央区南14条西8丁目の共同住宅において、連続して高齢者が犠牲となる死者火災が発生しました。今年に入り既に市内で7人の死者火災が発生し、昨年と比べて大幅に増加しています。出火原因については現在調査中ですが、住宅火災の主な出火原因は、「ストーブ」、「電気」、「こんろ」、「たばこ」になります。皆様の身体と財産を守るために、下記の火災を防ぐポイントを確認して頂き、火災予防にご協力をお願いします。

【ストーブ】火災に注意！

ストーブの周囲に燃えやすいものを置かない。



ストーブの近くに洗濯物を干さない。



外出するときや寝るときは火を消す。

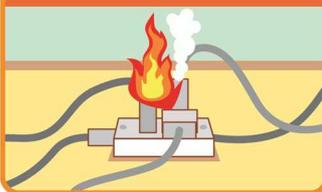


（ストーブ編）

- 使用前に点検整備する。
- 周りに燃えやすいものを置かない。
- 真上に洗濯物を干さない。
- 燃料の種類を確認する。
- 外出するときなどは火を消す。

【電気】火災に注意！

たこ足配線をしない。



電気コードを家具の下敷きにしない。



プラグのほこりに注意。



（電気編）

- タコ足配線はしない。
- 傷んだコードは使用しない。
- コンセントの差込口は清掃する。
- モバイルバッテリーに異常があるときは使用しない。

【こんろ】火災に注意！

こんろから離れるときは必ず火を消す。



こんろの周囲に燃えやすいものを置かない。



衣服のそで口を火に近づけない。



（こんろ編）

- こんろから離れる時は火を消す。
- こんろ付近に燃えやすい物は置かない。服を近づけない。
- こんろは壁から離して使用する。
- 安全装置がついた機器を使用する。

【たばこ】火災に注意！

寝たばこをしない。



灰皿はいつもきれいに。



吸い殻は一度水にさらしてから捨てる。



（たばこ編）

- 寝たばこ、くわえたばこはしない。
- 灰皿はいつもきれいにする。
- 吸い殻は水にさらすなどして捨てる。
- 屋外でのたばこの投げ捨てはしない。



火災はあなたの大切な人や資産を一瞬で奪います。
以下の3つの対策が有効です。

●住宅用火災警報器を設置しましょう！



※10年を目安に交換が推奨されています。

※住宅用火災警報器の「連動型」がさらに効果的です。

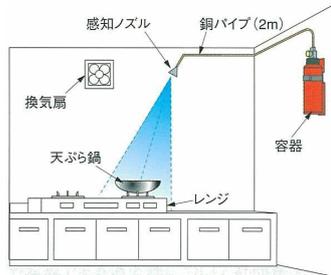
「連動型」は、火災を感知すると全ての感知器に伝達し、音が鳴るため、**火災発生場所にいなくても火災の発生を知ることができます！**

●消火器または自動消火装置を設置しましょう！

【レンジフード設置型】



【壁面設置型】



【天井設置型】



自動消火装置助成事業 ～ 市内居住の65歳以上の高齢者のみで構成される世帯を対象に1世帯につき、2台まで
1台あたり購入・設置に要した費用の最大28,700円を助成

●防災品を使用しましょう！

炎に触れても燃え広がらず火災の拡大を防ぎます。



防災品・非防災品



【お問合せ先】

札幌市中央消防署予防課

札幌市中央区南4条西10丁目 tel 011-215-2120